

イベント（講演）名	平成 18 年度第 9 回 IT 交流プラザ 「クリエイターズセミナー⑥」
主 催	郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会 (財) 郡山地域テクノポリス推進機構
開催又は実施年月日	平成 18 年 11 月 8 日（水）
開催又は実施場所	ビッグパレットふくしま（郡山市）
参加人員	約 60 名

クリエイターの相互研鑽をはかり、郡山地域内のクリエイターのスキルアップ支援をし、またホームページコンテンツを活発に盛り上げていくために、5 月よりシリーズ化して開催して参りました「クリエイターズセミナー」ですが、いよいよセミナー最終回を迎えました。

今回はホームページの「運営」という面でご講演いただき、講演会終了後には交流会も開催いたしました。

●テーマ「ホームページをつくるだけじゃダメ～ホームページ運営とこれからを考える～」

1. 『運営主体の Web ビジネスモデルの紹介』

講師：ナフメディア(株) 代表取締役 内藤 善之 氏

郡山を拠点に、150 件以上の宿泊施設の Web 管理・運営を手がけ、実績をあげている内藤氏が、ホームページを管理するということはどういうことか、何が大切かということをお宿泊施設（ユーザー）とのやりとりを例に、会社の生い立ちを含めて自身の考えを述べられました。



〔会社の生い立ち〕

◆自身が 24 歳の時に、これからはどこからでも、誰でも見られる「インターネット」の時代がくる、それを使って何かビジネスができないだろうかと考え、試行錯誤の上、いろいろな人が見るのに適したページは「観光施設」ではないかと思い、営業にまわるうちに「宿泊施設」がより適していると判断。同じ業種をひとつ、ふたつと手がけているうちに数が徐々に増え、現在に至る。

〔ナフメディア(株)でのホームページ運営管理業務〕

◆他にも「ホームページの運営・管理」を行っている会社はたくさんあるが、ナフメディア(株)の一番の特徴は、お正月・お盆関係なく年中無休ということが大きな違い。「ホームページ（サーバ）は、365 日 24 時間動いているのに、それを管理している人間が休んでいるのだろうか」という考えから、年中無休としている。宿泊施設に特化している事業のため、その方針がいい結果を生んでいるのではないかと。

〔ホームページを更新するというビジネス〕

◆「作るだけじゃダメ」。これはホームページにとって最も大切なことだが、初めてホームページに触れる人にはその重要性を理解できない人が多い。まず、なぜ更新しなくてはいけないかということをお客さん（ユーザー）に、理解してもらうことが大事。紙のパンフレットとの相違、ホームページの特徴をわかりやすい例などを使って納得してもらい、更新の重要性をわかってもらうようにしている。また初めてホームページを作る人は、どれぐらいの頻度で新情報をアップさせるか、更新の頻度なども知らない人も多いので、「頻度よりも一定の規則をもった定期性が大事」と考える自身のスタンスから、更新への適切なアドバイスも行っている。

◆ナフメディアは、ホームページの運営・管理を主としたビジネスを行っている会社。最近ではブログの登場などによって、誰でもホームページが更新できるような時代になってきているが、ユーザーから季節プランのアップや、キャンセルになった部屋の販促広報などの電話や FAX が相次ぐ仕事のスタイルは今もほとんど変わらない。それはユーザーと積極的に関わり連絡を密にしているため、ユーザーが伝えたいことをくみとることができるから。そのような関係を築いておけば、ユーザーも自分で更新するより、伝えたい情報を提供して更新してもらった方が楽という感じになる。そのためには、たとえ遠方での数時間の打合せなど、面倒だと思うこと、小さなことでも対応しておくことが大切。

◆内藤氏は、月々管理費をいただいている以上、その管理費よりはよくやっていると言われるような会社にすることが自社の理念だと最後に語り、ホームページを管理・運営するには、ユーザーの伝えたいこと（ページに載せたいこと）をキャッチするために、ユーザーに合わせて細やかなやりとりをすることが大切、それに付随した努力や工夫も必要だという講演をしめくくられました。

2. 『Web サイトのこれからー作りっぱなしではダメー』

講師：エヌケー・テック株式会社 代表取締役 内藤 清吾 氏

ナフメディア(株)の内藤氏の講演をうけ、エヌケー・テックの内藤氏は自社とナフメディア(株)との違い、またこれからの Web 制作がどう変化していくかについて説明されました。

〔会社の生い立ち〕

◆インターネットより以前に、会社の製品PRのためにオリジナルに作ったパソコンで動きや図面をお客さんに見せることを始めたのがきっかけ。インターネットの時代の波により、本格的に事業をスタート。企画コンペによるサイト構築が多く、新規から制作するというのがエヌケー・テック(株)の得意としていた部分であり、ナフメディア(株)との大きな違い。また担当が変わっても誰にでも更新しやすいように、CMS（コンテンツマネジメントシステム）という考え方を当時から取り入れ、CGI プログラムによる更新のしやすさ、システムを含めたサイト構築を得意としているのが特徴。



〔Web2.0 時代の到来とさまざまな影響〕

◆内藤氏が考える Web2.0 時代の特徴

1. Yahoo の凋落、Google の躍進
2. ブログの普及
3. 個人のクチコミマーケット時代

◆Yahoo は情報を整理してユーザーに提供し、利益を得ていた検索サイトだが、Google の登場によりその価値が下がっている。（Google の登場によって、Yahoo に有料登録しなくても検索されるようになった。）またブログが普及したことによって、検索されにくいということが多くなってきたため、SEO は標準で装備しなくてはならない。さらにブログの効果などにより、個人のクチコミなどが複数合わさってサイトの情報を提供するような時代になってきている。

◆内藤氏はこれらが Web2.0 時代の特徴だとして、これらの特徴により地域のポータルサイト*（例えば行政のサイトや地域の飲食ナビなど）の価値が下がる可能性が高いと指摘。

その理由として、Google のキーワード検索により、行政サイトやナビなどを介さずにユーザーは情報を直接得る。たとえ少数派の検索であってもロングテール現象*によりそのニーズは証明されているので、地域ポータルサイトの価値は薄れ、検索されるサイトこそがポータルサイト（検索されて上位にヒットしたサイトが情報の入り口）になっていくのではないかと、自身の考えを述べられ、このような時代（Web2.0 時代）に向けて、サイト構築の際には SEO 対策が必須であったり、デザインとコンテンツの分離をはかったりと、サイトの構築方法を変える必要が出てきている。

〔これからのサイト構築方法と Web ビジネスの考え方〕

◆これからのサイト構築方法として分業を提案。企画・デザイン・素材制作・サイトフレームワーク・テキストライター・コンテンツ更新・SEO チューニングなどそれぞれのプロが必要だが、一つの会社でまかなうことは難しいので、チーム制（地域でのアライアンス形成）によってサイトを構築する必要性を示唆。また Web ビジネスとしては、新規のサイトの制作だけでは経営が成り立たない時代となってきているので、「制作後」が重要。

◆今までは「Web 制作会社」ということでつくるだけでよかったが、これからは更新やサイトの管理、ナフメディア(株)のようにコンサルティングを兼ねたサイトの管理など、サイト構築からビジネス代行までを行わなくては厳しくなりつつある。制作しっぱなしではいずれ顧客が離れていく可能性がある時代になってきている。

◆ホームページ制作というものは、印刷物とは違い何をもっておわりとするか難しい性質があるがゆえ、収益をだしにくい。収益をあげるには、SEO 効果により結果がでるなど、ユーザーにとって価値のあるサイトにするなど制作+更新・コンサルティングなどサービスが大切になってきている。そのためには、クリエイターや企業の連携も考慮しなくてはならないのではないかと、これからの Web ビジネス像についての講演をしめくられました。

※ポータルサイト…インターネットを利用する人にとって入り口となる巨大な Web サイト

※ロングテール現象…インターネット上では、生起頻度の低い要素の合計が全体に対して無視できない割合を占めるという法則。特にデジタルコンテンツのダウンロード販売などは、在庫管理のためのコストがかからないためより効果的になる。